



第八回「テクニック集」

今回の OnePointLesson は、F-BASIC のプログラミングに関するテクニックを集めてみました。また、F-BASIC のオンラインヘルプでは、「知って得するプログラミングテクニック」としてテクニックを紹介しています。あわせてご覧ください。オンラインヘルプ起動後、キーワード「知って得」で検索してください。

INP 関数の代わりにキーボードを読み取る方法

N88-BASIC の INP 関数は F-BASIC ではサポートされていませんが、キーボードを読み取るために使用している場合、次の方法で同じような機能を実現することができます。"declare function" の使い方に付いては第五回「WindowsAPI を使ってみよう」を参照してください。

```
declare function API_GETKEYSTATE lib "user32.dll" alias  
"GetAsyncKeyState" ( byval VKKEY% ) as integer  
  
do  
  
    if (API_GETKEYSTATE( &H0D ) and &H8000) then print "CR が押  
    されている"  
    if (API_GETKEYSTATE( &H10 ) and &H8000) then print "SHIFT が  
    押されている"  
    if (API_GETKEYSTATE( &H11 ) and &H8000) then print "CTRL が  
    押されている"  
  
loop
```

シーケンシャファイルの EOF マークを削除する方法

シーケンシャルファイルでは、ファイルの終端に、EOF(&H1A)が付加

されてしまいます。これを削除するには下のプログラムのようにします。

```
open "FILE.TXT" for binio as #FF      ' バイナリファイルを開く
A$=space$(lof(FF))        ' ファイルの長さ分空白を入れる
fread #FF, A$            ' データを読み込む

' A$の最後が EOF(&H1A)だったら最後をカット
if right$(A$,1)=chr$(&H1A) then A$=left$(A$,len(A$)-1)

seek #FF, 0              ' ファイルポインタを返す
truncate #FF             ' ファイルポインタ以降のファイルをカット
fwrite #FF, A$           ' ファイルに書きこむ
close #FF                ' ファイルを閉じる
stop
end
```

エラーなしでファイルの新規作成する方法

ファイルを新規作成する場合、すでに同じ名前のファイルが存在しているとエラーが発生してしまいます。 それらを回避するためには次

```
open "FILE.DAT" for rndio as #FF
field #FF, 10 as A$
truncate #FF
lset A$="test"
put #FF, 1
close FF
stop
end
```

' バイナリファイル

```
open "FILE.BIN" for binio as #FF
truncate #FF
A$="test"
fwrite #FF,A$
close FF
stop
end
```

エディットコントロールのテキストをすべて選択する方法

プログラムの起動直後にエディットボックスの中にデフォルトの値をいれておいて、あとで何か入力するときに楽なようにテキストをすべて選択状態にしておきたい時ってありませんか？そんなときは、FORM_START 時に、エディットコントロール内のテキストを、SETSELTEXT を使って選択状態にします。

```
#include "windows.bi"
```

```
EDIT1.SETSELTEXT 0, -1
```

```
end sub
```